

杉戸町新庁舎整備基本構想(案) パブリックコメントの結果について

1 意見募集の概要

- ① 意見募集期間 : 令和5年11月9日(木)から令和5年12月8日(金)
- ② 意見募集の周知 : 広報すぎと、町ホームページ
- ③ 閲覧場所 : 杉戸町役場(行政情報コーナー、管財契約課)、各公民館(西・東・南・泉)、深輪産業団地地区センター、ふれあいセンターエコ・スポいずみ、彩の国いきいきセンターすぎとピア、高野農村センター、カルスタすぎと(生涯学習センター)
- ④ 意見の提出方法 : 意見回収箱に投函、郵送、FAX、電子メール、町ホームページ

2 意見募集の結果

- ① 提出者数: 8人(提出方法:意見回収箱 4通、町ホームページ 4通)
 - ② 意見等総数: 37件
 - ③ 反映件数: 2件(No. 5、No. 29)
- ※ 意見については、一部要約の上、掲載しているものがあります。

○町民の安心・安全を支える庁舎

No.	頁	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	—	<p>温暖化により気候変動がもっと進み、異常気象・巨大台風、洪水・干ばつ・熱波など自然災害が増加する時代になる。</p> <p>杉戸町ハザードマップによると利根川の洪水想定では現在の杉戸町役場は0.5～3m未満の浸水想定区域にあり浸水時には長時間執務できるか疑わしい。</p> <p>洪水時に防災本部になるためにはコンピューターのサーバーや、防災本部に関わる課は2階以上の階に設置すること。1階は駐車場、会議室など浸水しても影響の少ない構造とすること。</p> <p>また、温暖化対策として、太陽光発電はもちろんの事、高温・低温対策にはエアコンや断熱だけでなく太陽からの赤外線を反射する遮熱もできる構造とすること。そうすればエアコンもずっと小さくできCO2排出量も減らすことができる。</p>	<p>防災拠点として構造や階数、自然環境に配慮したZEB化などの機能や設備については、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。</p>
2	—	<p>建設場所は、現庁舎の土地が第一候補のようですが、この土地をどう見るか多面的に考えてください。浸水が0.5から3mの場所です。洪水に見舞われた場合を想定すると、1階にはコンピューター関係や書類類は置けません。すると、1階は物を置かない会議室にするのがよいのでしょうか。防災拠点として住民の避難場所になると考えると、会議室は上階がよいのでしょうか。</p>	<p>防災拠点として、必要な構造や配置などについては、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。</p>
3	—	<p>新庁舎の建設位置は、水害対策の上から不適切。巨大台風の襲来に対応できない。建設位置を再検討し、当面は現行施設の活用を考えるべきです。</p>	<p>新庁舎の位置については、現役場敷地を有力な候補地としておりますが、候補地につきましては、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。</p>
4	—	<p>町は東中学校をなくし、今度は西小をなくそうとしています。説明会でも発言がありました。が、「小中学校を縮小して、新庁舎づくりを進めるのは違和感がある」。本当にその通りです。</p>	<p>町内公共施設については、「杉戸町公共施設等総合管理計画」に基づき長寿命化等を実施しており、役場庁舎については、更新及び他の公共施設との集約化・複合化について検討しています。</p>

○誰もが利用しやすく、働きやすい庁舎

No.	頁	意見の概要	意見に対する町の考え方
5	P.9	基本方針の説明について、分かりやすい文章にしてください。 「効率的で分かりやすい利用者や職員の導線に配慮する」 ⇒「利用者や職員の、効率的で分かりやすい導線に配慮する」	「利用者や職員が分かりやすく、効率的な導線に配慮する」に修正しました。
6	—	入り口が狭すぎるので、出入り口の工夫も必要です。	道路の接続など敷地の形状については、今後、基本計画策定の中で詳細に検討いたします。
7	P.20~	接道について、現在庁舎と同様、旧日光街道からの引き込み同を主たる接道としている。建替パターン4パターンのみでは物足りない。杉戸町の主要な道である国道4号線から駐車場、みなみがわ散策道を経て、主たる敷地に入る建替え案も考えられる。 また、日照～周辺建物への影響について、日の出から日の入りまでの主な日影は、敷地の北側、東側かと考えられるので、それを考慮した低層ではない建替プランも考える必要があるのではと思う。 P.22の下部に記載のあるとおり、建設パターンはいろいろ考えられるので、十分な検討が求められると思う。	庁舎の位置や配置については、現時点で確定しているものではありません。今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。
8	—	将来のことを考えると、町民や議会などで、タブレットが接続できるようWi-Fi環境は整備すべきと考えます。	Wi-Fiを含め必要な設備等については、今後、基本計画策定の中で詳細に検討いたします。
9	—	職員のみなさん、お金がかからない、夢のある提案をたくさんしてください。よろしくをお願いします。”	必要な機能など、職員の中で十分に検討して進めてまいります。
10	—	ワークシヨップ時にもお話しましたが、埼玉県内に下記のような取り組みがあります。是非せつかくの機会ですから、下記のワークスペースの設立を杉戸町新庁舎内に組み込んでいただけないでしょうか？勤務先でもフロアミーティングもありました。下記はワークスペースを使った例です。 ■武蔵野銀行 エムズスクエアM's SQUAREのご案内一時的なコワーキングや仕事の打ち合わせ、自主学習など自由なスペースとしてご利用いただけます。 https://www.musashinobank.co.jp/ms_square/ ■埼玉biz garden(さいたま市大宮区) 埼玉 大宮 朝活 彩都.biz埼玉biz gardenは、2012年5月より毎週日曜日8:00から 埼玉県大宮周辺のカフェで開催している、20代限定のコミュニティ(朝活)です。 https://www.1saito.biz/company/bizgarden	ご提案の町民ワークスペースについては、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。

○社会環境の変化に柔軟に対応できる庁舎

No.	頁	意見の概要	意見に対する町の考え方
11	—	DXの時代になる。いろんな手続きはネットで済むようになり、役場を訪れる町民はずっと少なくなる。私は10年前に視察したスウェーデンではネットによる情報提供、手続きが進んでいて、市役所では住民の姿は見えなかった。窓口は今ほど広くいらぬのではないかと。 私は役場のいろいろな審議会、懇談会、検討委員会、ワークショップなどに出てきたが、継続的なものは少なく、これでは十分な審議は出来ず、従って練られた意見や提案も出来ず、意見も調整に反映されず、町へも貢献できず、自分たちの町という愛着が生まれぬ。継続的な委員会などを作り、町行政に住民の意見を反映するために、町民同士で町政について討議でき、そして、町長や町職員と討議できる会議室、資料室を設けてほしい。	DX化により将来の窓口のあり方や庁舎のレイアウト、規模については、様々な視点で検討する必要があると考えます。今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。 検討を進める中で、住民参加の手法についても検討していきます。
12	—	説明会でも出た廊下が狭く書類類が場所を占めていて活用し辛いとのことですが、建設をもう少し遅らせるとしたら、徹底したものの置き場の工夫と文章の完全なデジタル化が必要でしょう。中央公民館を壊すときに図書室の本をボランティアが整理しました。そのように何か住民ができることがあると協力者が出てくるでしょう。(町への信頼の度合いにも寄りますが)	DX化や働き方改革など検討を進め、将来を見据えた庁舎整備になるよう、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。
13	—	10年前にスウェーデンの市役所に視察に行きました。住民の姿はほとんどありませんでした。「みなさん、ネットを使っていますから、市役所に来る必要がないのです」と説明がありました。 たとえば50年後の杉戸町民は、今のタブレット学習の小学生が60歳前後。つまり、ほとんどがネットが使える時代です。10年後、20年後、…と考えていくと、住民の生活、社会環境は大きく変わります。それに対応するには、部屋を固定するのではなく、必要な時期に変更できるようにしていくことが有効なのではないかと考えます。	DX化や働き方改革など検討を進め、将来を見据えた庁舎整備になるよう、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。

○建設・維持管理コストを抑えたコンパクトな庁舎

No.	頁	意見の概要	意見に対する町の考え方
14	—	今は、物価の超高騰期です。今建てるべきではない コロナ明けの需要拡大、異常円安による輸入品高、ウクライナやガザの国際戦争による燃料高騰など異常な物価高騰期です。しかし、人件費の高騰以外は全て一時的なもの。今、建てるべきではありません。	審議会の委員や事業者からは、建設コストは今の水準より上がることはあっても下がることはないとの見解も聞いております。 庁舎整備には、多くの時間がかかることから、適切な時期に建てることできるように検討を進めていく必要があると考えております。

15	—	<p>杉戸町個別施設計画に沿って、長寿命化を守ること。杉戸町個別施設計画(2020年10月)によると、将来人口が減って財政が大変なので、経費節減のために「長寿命化型に分類される建築物について、その上限値の年数まで使用することとします」鉄筋コンクリート造りは85年、鉄骨造りは85年、軽量鉄骨造りは40年」と記しています。従って、新庁舎も長寿命化計画に沿った建築とすべきです。また、現在の庁舎については、本庁舎は築後61年なので、あと24年残り、第1庁舎はあと37年、第2庁舎はあと8年なので補強し、第3庁舎はあと61年、文書保管庫はあと49年は使用を基本とすべきです。そうでないと町の個別施設計画と矛盾します。この新庁舎建設計画で杉戸町の財政は大丈夫なのでしょうか。明確な根拠を示してほしい。</p>	<p>現在の役場庁舎にはさまざまな課題があり、また、時代に即した必要な機能が求められています。災害時の防災拠点機能やユニバーサルデザインへの対応、老朽化対策などさまざまな課題については、長寿命化では解決することは難しいと考えています。財政につきましては、将来に大きな負担増とならないよう、財源計画について十分に検討してまいります。</p>
16	—	<p>建設時期は、物価高騰真っただ中のこの時期をずらしてもよいのではないのでしょうか。近隣で最近建設した自治体は、杉戸の予算よりかなり低い建設費で建設されています。時期を見てください。</p>	<p>審議会の委員や事業者からは、建設コストは今の水準より上がることはあっても下がることはないとの見解も聞いております。庁舎整備には、多くの時間がかかることから、適切な時期に建てることができるように検討を進めていく必要があると考えております。</p>
17	—	<p>世界の危機や食料自給率、電力自給率に対応できる先進的の思考も必要です。省エネ・再エネのためのあらゆる工夫や太陽光発電システムの設置、蓄電池の有効利用、県産木材使用、地産地消の食堂など、たくさんの意見や専門家の知恵を集結させましょう。杉戸町の住民にはたくさんの知恵がありますし、それはコンサルのように何千万円、何百万円もかかりません。丁寧に話し合い、学び合えばできます。</p>	<p>さまざまな課題を解決するために、専門的な知見も必要と考えますが、町民の意見も聞きながら進めたいと思います。</p>
18	—	<p>議員さんが一般質問で「新庁舎はつくって杉戸町をこわすな」と言っていました。多くの人が心配しているのはその点でしょう。建設費60億円の内、45億円が地方債、15億円が公共施設改修基金など(基金は現在9億円あるとのこと)。アクセス道路建設など必要な場合、さらに1億から1億2000万円を見込んでいるとのこと。その償還は、地方債45億円は、20年だと2.5億円前後、30年だと2億円弱。そして、「個人住民税の増額は検討すべき一つ」と町ははっきり明言しました。新庁舎をつくることで若い世代に負担がそのまま乗っかってしまう、本当に町が壊れることになってしまいます。それはやめてください。</p>	<p>大規模な建設事業を実施する場合には、世代間の負担の公平性の観点からも地方債を有効に活用することが考えられます。地方債残高に十分留意しながら、公債費負担の平準化を図るとともに、地方債の借入額を少なくするため、基金の確保に向けて準備してまいります。</p>
19	—	<p>予算については、他にも心配がたくさんあります。私たちが当然受けられるべき社会保障などが切り捨てられてしまうのではないかと、医療費や学校給食費の無償化が後回しになってしまうのではないかと、道路や公民館などが改修されないのではないかと、これらは日々の命や暮らしを守る基本です。私は新庁舎よりも暮らしを優先します。</p>	<p>町民の命や暮らしを守ることは行政の基本であると考えております。一方、災害時の防災拠点としての機能や各種行政サービスを行う上で庁舎は重要な役割を担う施設と考えております。事業費の縮減についても、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。</p>
20	—	<p>コンサルに頼って多額の税金を使わないでください。</p>	<p>庁舎整備にはさまざまな課題があり、解決手法も多様にあり、経費面を含めてよりよい整備を進めるためには専門的な知見が必要になります。そのため、民間事業者の知識・経験を活用し、適切に進めてまいります。</p>

21	P.25	<p>整備手法について ④PFI方式では、「税金などを原資として供給される一定の支払いに対し、最も価値の高いサービスを提供すべき」(Value for Money)という考え方が前提となっている。事業期間全体を通してコスト削減を目指す方式であるので、ライフサイクルコストについても他の方式と比較され、併せて民間との良好なパートナーシップ形成が求められる。 これまでの杉戸町での実績(生涯学習センター)を踏まえ、前向きな検討を期待している。</p>	<p>整備手法については、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。</p>
22	—	<p>新庁舎建設にあたり将来的に町民への税負担増にならない様に幾度となく審議を願いたい。 また、町民への説明については決定事項ではなく見直しの余地のある説明をお願いいたします。 特に建設に向けた設計、立案の時期から完成時までの期間に生じる情勢の変化もあり、大人の発想と合わせ、子供の視点も加味した新庁舎が望ましいと考えます。いつでも中止や変更の出来る柔軟な組織体制を望みます。</p>	<p>庁舎整備の詳細や必要な経費等につきましては、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。 また、町民には丁寧に説明してまいります。</p>
23	—	<p>将来の人口規模を考えても費用がかかりすぎる。簡素で効率的な新庁舎にすべきです。今なら建設できるという根拠が示されていない。運営維持管理にも民間導入で多額の費用がかかれば、PFIの導入で経験したように財政の硬直化をきたしかねない。現有の公共施設の長寿命化や維持管理が不十分のなか、新庁舎の債務を返しながら運営維持管理を負担していけるのか。住民サービスの低下にもつながる。</p>	<p>建設費用につきましては、将来を見据えた庁舎規模の設定や事業手法によって縮減できると考えております。今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。</p>
24	—	<p>当初計画していた頃より世の中の状況が変わり資材の高騰もあり、できれば一旦立ち止まる必要もあるのではと考えます。というのも町民にあまり周知されず「本決まりとは知らなかった」と言う声が相当数いることも懸念事項です。</p>	<p>庁舎の老朽化やユニバーサルデザインへの未対応など庁舎の課題を整理し、庁舎のあるべき姿を明らかにするために、基本構想を策定しております。庁舎整備は多額の費用も発生することから、基本構想策定後、町民説明会を開催するなど丁寧に説明してまいります。</p>
25	—	<p>11月26日の住民説明会で「今日がスタート」と言っていました。審議会では公募が2名。他の住民の意見はほとんど聞けなかったのも、今後は住民の意見をたくさん聞いてほしいと思います。説明会の予定はまだ決まっていないとのことでしたが、町財政においても町の中心的存在の施設という意味でも徹底した意見の交換が必要です。まず5地域で説明会を行い、住民の意見を聞く場を設けてください。</p>	<p>基本構想策定後には、基本構想の内容について広報紙への掲載や町民説明会を開催するなど丁寧に説明してまいります。</p>
26	—	<p>杉戸町は人口が減っていきます。将来税金を納める人も減りますので、物価高の今、建て直すべきでないと思います。デジタル化も進み役場の役割も変わっていきます。考えていただきたいです。 どうしても新庁舎をといるのなら、なるべく借金を少なくするようにC案の現庁舎建替+第3庁舎活用にして、無駄を省いてください。</p>	<p>審議会の委員や事業者からは、建設コストは今の水準より上がることはあっても下がることはないとの見解も聞いております。 庁舎整備には、多くの時間がかかることから、適切な時期に建てることができるよう検討を進めていく必要があると考えております。 費用面の縮減を含めて、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。</p>

27	P.10	庁舎に必要な機能について ①～⑥の導入機能を踏まえ、④の建物のライフサイクルコストが後述(P20以降)の建替4パターンに与える影響が大き過ぎて、建替パターンの硬直化の印象が否めない。	建替4パターンにつきましては、例示となっておりますので、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。
28	P.16	3 会議室(含むトイレ等生活スペース)45人を除いた常勤職員で換算するのはなぜ。	総務省の基準では「会議室等(会議室、電話交換室、便所、洗面所その他の諸室をいう。)については7.0㎡に常勤職員の現在数を乗じて得た面積(その面積が350㎡未満であるときは、350㎡)とすること。」と定められております。
29	P.17	3 会議室 算定式を正しく記載してください。 $200 \div 100 \times 40 \text{㎡} + 76 \div 10 \times 4 \text{㎡}$ 5 ①食堂職員数276人にもかかわらず200人以上250人未満=97㎡なのはなぜ。	3 会議室についてご指摘の通り修正します。 5 ①食堂については、ご指摘の通り誤記がございました。全職員数が276人の場合、国土交通省基準では118㎡(250人以上300人未満)ですので、修正します。
30	P.16、 P.17	庁舎への来客スペース(いわゆる利用者のためのロビー)の算定がないのはなぜ。	総務省基準では「8 玄関等」に、国土交通省基準では「11 玄関等」に来客スペースが含まれています。
31	P.18	庁舎規模の検討 10行目現在の半数の職員で行政を支える必要がある…。について、現在の半数の職員の人数とは、現在の職員数なのか換算人数なのか説明が欲しい。	現在の職員数と考えています。

○自然環境に優しい庁舎

No.	頁	意見の概要	意見に対する町の考え方
32	—	カーボンニュートラル、温暖化対策として宮代町のように木造で温暖化対策になり、県内の木材産業への支援にもなる。コストは2割高と言われるが、カーボンニュートラルなのでCO2削減で自然災害を減少でき、災害の損害額を減らせること、木材を使用すると県・国の補助制度も活用できる。実際に木造にした宮代町の役場はきれいで木のぬくもりが感じられる心地よい庁舎となっている。ぜひ、木材でつくって欲しい。	構造につきましては、環境面にも配慮が必要ですが、費用面や防災の観点も踏まえて、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。
33	—	壁の断熱材なども工夫していただきたい。	構造等につきましては、今後、基本計画策定の中で詳細に検討いたします。

○「杉戸らしさ」にあふれ、親しみと誇りを持てる庁舎

No.	頁	意見の概要	意見に対する町の考え方
34	—	多くの方が視察に来るような郡役所の再来のような建築だとどのくらいかかるのか試算していただきたいです。	デザインや費用については、今後、基本計画策定の中で詳細に検討いたします。
35	—	誰もが立ち寄りたくなるような杉戸の歴史がわかる資料館の併設、保健センターは役場内へ移設など効率面からも賛成です。	保健センターや文化財資料室の統合については、効率面や経費面を考慮して、基本計画策定の中で詳細に検討いたします。
36	—	素案には「杉戸らしさ」と何度も出てきますが、説明会で「杉戸らしさとはどんなことか」との質問に担当者は「それぞれイメージが違うので決められない」と回答しました。決められないのに杉戸らしさとは何でしょう。杉戸らしさのある建物（ハードもソフトも）にしたいなら、まずこのことを徹底して話し合わないで、杉戸らしい新庁舎は生まれません。	杉戸らしさについては、新庁舎整備審議会や町民ワークショップの中でも話がありましたが、「農業」「自然」「宿場町」「文化」などさまざまなご意見があり、説明会では1つには決められないとの回答になっております。外観や機能について、杉戸らしさを反映できるように、今後、基本計画策定の中で詳細に検討していきます。
37	P.8	基本理念の説明欄に加えていただきたい考え方は、 ・杉戸に住みたい。住んでよかったと思う。 ・杉戸に住むことに対し、プライドを持てること。 であると思う(シビックプライド)。 今後、杉戸町でも「公助・共助・互助・自助」を町民とともに標榜し、円滑に進めていくことのできる役所(庁舎)が必要となってくるから。	ご提案の意見については、必要に応じ、今後の各種行政計画策定の際に参考とされるものと考えます。